



Power Platform

業務をデジタル化・自動化する

# ローコード開発ツールPower Platformとは？

# はじめに

Microsoft製品のひとつである「Power Platform」は、あらゆるビジネスを成長させ、業務上の課題を解決できるローコード開発ツールです。その導入の手軽さから、昨今多くの組織で利用が増えてきています。データ分析やプロセスの自動化、アプリケーションやWebサイトの作成、仮想オペレーターを構築することで、コストの削減や業務改善化を推進可能です。

Power Platformは5つのサービスで構成されており、それらを組み合わせることでさらなる効果を発揮します。また外部サービスとの連携にも柔軟に対応しているため、例えば社内の既存システムと組み合わせることで業務効率化や生産性向上を目指すこともできます。

本資料では、Power Platformの需要が高まっている背景やPower Platformで実現することについて、詳しく解説します。

## CONTENS

### 注目が集まるローコード開発ツール

DX推進の流れは止まらない	3
自社に合ったツールの選定が求められる現状	4
ローコード開発が実現する「自社向けにカスタマイズできる」クラウドツール	5

### ローコード開発ツールPower Platformとは

Microsoft 365、Azure、Dynamics 365など、スタンドアローンのアプリケーションにわたるローコードプラットフォーム	7
業務をデジタル化・自動化することで、業務効率化が加速する	8

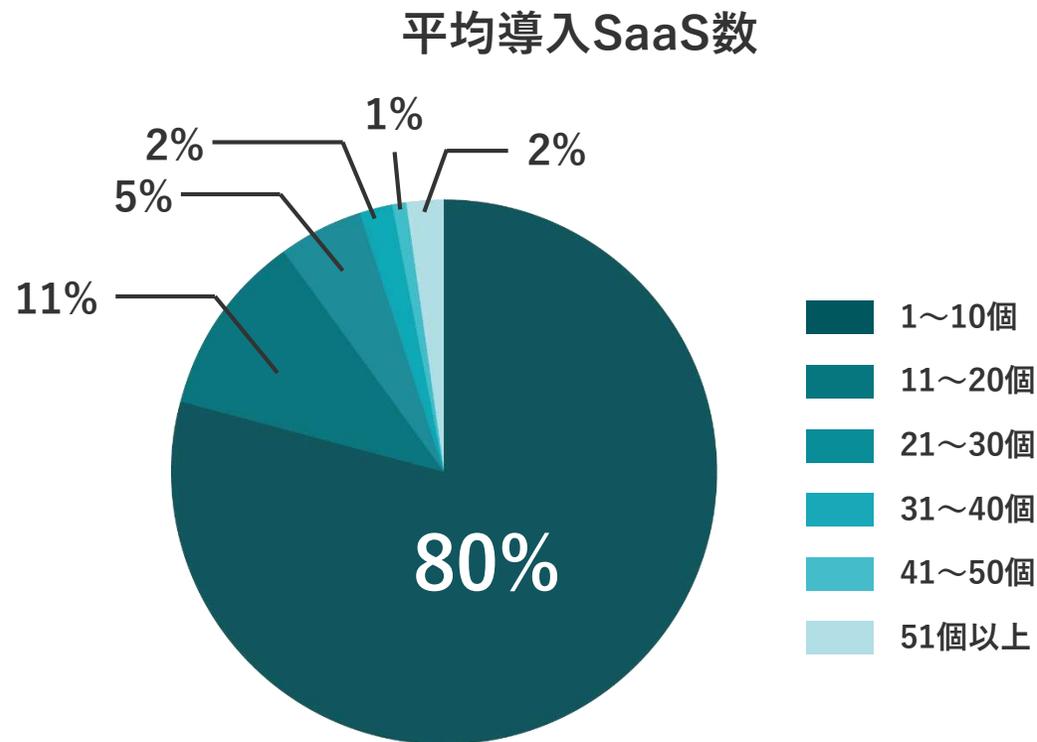
### Power Platform導入・運用を成功させるテクバンのサービス

ローコード開発ツールPower Platformを活用するために	10
アウトソースと内製化、両方のご要望にお答えします	11
アウトソースをご希望の場合：導入支援サービス	12
内製をご希望の場合：導入支援サービス	14

# DX推進の流れは止まらない

## 組織にとって生産性の向上、効率の追求が急務に

日本における慢性的な労働人口の減少という課題は避けて通ることはできません。そのため、組織の経営層は業務の効率化や生産性向上を目指すことが求められています。その一環としてDXが推進され、ITソリューションの活用が進んでいるのです。そしてDX推進のために、様々なクラウドツールやSaaS（Software as a Service）が誕生し、右図のように複数のサービスを導入する組織が増えてきているのが現状です。平均すると一社あたり8.7個ものSaaSが導入されているといえます。いかに、現在の組織がSaaSに依存しているかがわかるデータです。

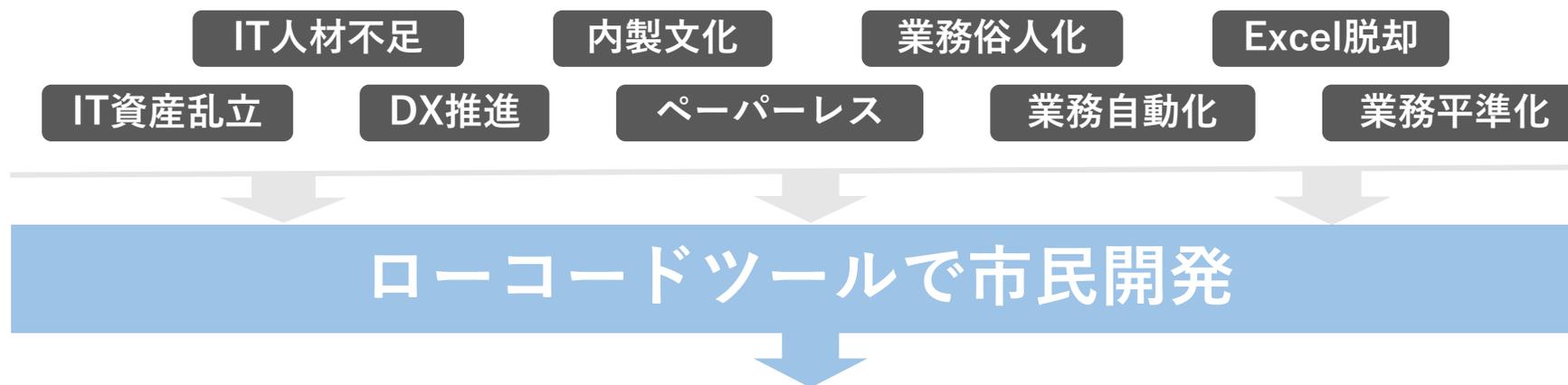


(出典) 「コロナ期のSaaS導入変化でふり返る2020年」 SaaS利用実態調査レポートより引用

# Microsoft 365、Azure、Dynamics 365など、 スタンドアローンのアプリケーションにわたる ローコードプラットフォーム

全社的に各社員がDX化・業務効率化を実現できる

ローコード開発ツールの普及により、各組織が抱えている課題を解決したり、業務効率や生産性向上を目指したりできるような開発・カスタマイズが各組織で行われています。まさにDX推進にローコード開発ツールは最適だといえるでしょう。



DX・業務効率化が会社全体/各社員で実現ができる



Power BI

Power Apps

Power Automate

Power Virtual Agents

Power Pages